

政策協定書

緑の党グリーンズジャパンと福島みずほ（社民党全国比例区候補者）は、第24回参議院議員選挙（2016年7月執行）において、自民党・公明党・おおさか維新の会がめざす「2/3以上の議席確保」の目標を阻止し、自民党安倍政権にNOの声を地域からつきつけるために、下記の政策理念に双方合意し、協定を締結します。

このことをもって、緑の党グリーンズジャパンは、本選挙にあたり福島みずほを推薦し選挙支援を行います。福島みずほは、当選後、合意した政策理念を尊重し、その実現をめざして国会議員活動を行うこと、地方から政治を変えるために緑の党グリーンズジャパン公認・推薦の自治体選挙候補者を支援することを確認します。

本協定書は2通作成し、緑の党グリーンズジャパンと福島みずほが署名捺印の上、それぞれ1通ずつ保管します。

*なお、野党共同の比例区名簿（いわゆる「オリーブの木」構想）成立の際には見直し協議を行なうこととします。

2016年 3月 7日

緑の党グリーンズジャパン共同代表 長谷川 平和 印

社民党全国比例区候補者 福島 みずほ 印

記

(1) [非暴力・平和] 立憲主義に反する安保関連法制を廃止します

安保関連法制は手続きとしても立憲主義に反しています。すみやかな廃止をめざす国会・市民活動を行ないます。憲法9条をもとにした平和主義を貫きます。

(2) [脱原発・再生可能エネルギー振興] 原発ゼロ社会を実現し、再生可能エネルギーを中心とした環境産業育成につなげます

3.11 福島原発事故の悲惨な現状を直視し、福島の現地や避難者の支援策に全力をあげます。稼働中、稼働予定も含めてすべての原発は適切な避難計画もなく安全性を確保できません。すみやかに停止し、原発ゼロ社会を実現します。再生可能エネルギー産業育成や省エネルギー技術などの環境産業で新たな雇用を増加させることをめざします。

(3) [反 TPP、環境分野や地域づくりによる地域循環経済] 地域経済を破壊する TPP に反対し、地域循環経済をめざします

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）の国会での批准などに反対し、成熟社会にふさわしい地域循環経済をつくりあげることがめざします。農や介護など地域で循環する新産業を地域が中心になってつくりあげます。また、生活の質を確保しつつエネルギーを過度に使わない技術の育成にもつながる気候変動対策をすすめ、持続可能な社会をつくります。

以上